



市議会令和6年6月定例会が、6月3日から6月21日までの19日間の日程で開催されました。開会日に、当面する市政の重要課題について、岩佐市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分のみを掲載します。

## 阿南市総合計画の中間見直しについて

本市は、昭和47年に第1次計画を策定してからこれまで、6度にわたり総合計画を策定し、将来都市像の実現に向けたさまざまな施策を展開してまいりました。

現行の総合計画の折り返しとなる本年度は、これまでの取組に対する検証・評価を踏まえ、計画の全体的な見直しを実施します。

この中間見直しの実施にあたっては、行政の継続性の観点から現行計画の基本的な考え方や大枠は維持しつつ、社会経済情勢や環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するとともに、私が市民の皆さまとお約束をいたしました施策を、可能な限り反映した今後4年間の計画として見直すこととします。

また、令和2年度から5年間を計画期間とする第2期「阿南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間が今年度末をもって終了

## 「阿南市暮らしのガイドブック2024」の発行について

このガイドブックには、市役所での各種届出の方法のほか、子育てや医療、介護といった身近な行政サービスに関する情報を、より詳細にわかりやすくまとめています。

また、近年頻発する自然災害に備え、災害時や緊急時に役立つ防災情報を新たに加えるなど、市民の皆さまの安全・安心な暮らしにつながる情報も充実させました。

さらに、行政情報だけでなく、市内の行事や観光スポット、特産品等の地域情報も盛り込み、日常生活に寄り添った情報誌として7月中には各ご家庭にお届けします。

今後、このガイドブックについては、電子書籍化し、市ホームページ等で公開する予定となっています。この電子版では、掲載内容に変更があった場合は適宜更新することにより、市民の皆さまに最新の情報をお届けできるものと考えています。

## 「ITデジタルなんでも相談室」の開設について

デジタル技術が急速に発展したことにより、インターネットやパソコンなどの情報通信技術の恩恵を受け

することから、今回の総合計画の中間見直しに合わせ、人口減少対策や子育て支援策を一体的に推進するとともに、市民のわかりやすさの向上や事務の効率化につなげるため、新たに「総合計画との一体化」を図り、見直し後の総合計画を新たな総合戦略として位置付けることにいたしましたと考えています。

見直し作業に際しては、各種団体の代表者や公募委員等で構成する総合計画審議会における審議や、市民アンケートの実施を通じ、幅広く市民の皆さまのご意見を把握し、計画への反映を検討していくとともに、市政運営における最上位に位置付ける計画として、より一層実効性が高い計画となるよう、鋭意取組を進めてまいります。

## 行財政改革の推進について

私が市長就任以来掲げ続けてまいりました「積極予算による活力あるまちづくり」が本格始動しています。

られる人と受けられない人との間に生じるデジタルデバイドと呼ばれる情報格差が課題となっています。そうした課題に対応するため、本市ではデジタル機器の扱いに不慣れた市民の皆さまが抱えるスマホやパソコンの使い方などのお悩みに市職員が応じる「デジタルなんでも相談室」を去る5月9日に市役所多目的スペースで、5月16日には富岡公民館、中野島公民館で開催しました。引き続き各地区の公民館で開催を予定しており、詳しい日程は、広報なんでもお知らせしてまいります。今後ともあらゆる機会を通じて、誰一人取り残さない形で、デジタル化の恩恵を広く行き渡らせていく環境整備に取り組んでまいります。

## 野球のまち阿南の取組について

7月26日から29日までの日程で、J Aアグリあなんスタジアムを主会場に「野球のまち阿南第12回少年野球全国大会」を開催します。北は北海道から南は沖縄まで全国各地から選抜された強豪チームが出場するほか、今年度は旧那賀川町時代から交流のあるモンゴル国からも1チーム参加する予定で、全33チーム総勢約700人の選手たちが熱戦を繰り広げます。

同時に、「阿南中央図書館(仮称)」の整備や、南海トラフ巨大地震等の激甚災害を見据えたインフラ施設の強靱化、全ての子育て世帯に「幸せ」を実感していただける支援策など、私が「未来への投資」と位置付ける各種施策を実現していくためには、効率的な経営資源の配分が必要不可欠であると認識しています。

そこで、これまで本市で取り組んでまいりました「阿南市行財政集中改革プラン」につきましては、昨年度末をもってその計画期間が満了したところでありますが、このたび新たな「行財政改革の計画」を策定するとともに、年度内に成案を得ることを目的に、検討に着手したところであります。

新たな計画における取組内容につきましては、今後、「阿南市行財政改革懇話会」等におきまして、外部有識者等のご意見を賜りながら具体化してまいります。現時点においては、多様な民間活動主体との

次に、「スポーツ庁長官杯争奪第15回記念アジアオープンテニール国際大会 in ANAN (JAPANA) 2024」についてであります。

アジアテニス連盟主催のもと、野球のまち阿南推進協議会が共催することにより、8月23日から25日までの3日間、J Aアグリあなん運動公園内の各会場において、アジア諸国・地域の小学生以下の子どもたちを対象にしたテニール国際大会を開催します。

日本初の地方開催となる本大会は、中国、韓国、台湾、モンゴル、ベトナム、タイなどの8つの国・地域から14チームと日本からは18チームの参加が予定されており、選手や保護者、関係者も含めると約900人が本市を訪れることとなり、観光事業などにも大きな効果が生まれるものと考えています。

本市といたしましては、野球のまち阿南ならではの「おもてなしの心」でお迎えし、思い出に残る笑顔いっぱいのお大会となるよう取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

## 小・中学校再編について

現在、本市が進めております小・中学校の再編につきましては、本年1月に具体的な学校再編案やスケ

パートナードシップに基づく「公民連携」を加速するとともに、AIやIoTなど、先端技術の活用による「スマート自治体」の取組を積極的に盛り込み、経営資源の効率化と市民サービスのさらなる向上を図ってまいります。

なかでも、「スマート自治体」に關しましては、その先駆的な取組として、「阿南市LINE公式アカウント」の機能拡張を去る5月1日に実施しました。その新たな機能としましては、利用者のニーズに合わせた情報を確にお届けする「セグメント配信機能」の実装に加え、メニュー画面を一新し、公共施設の予約や国民健康保険等の電子申請手続きにスマートフォンから簡単にアクセスできる環境などを整備しています。

新たな行財政改革が、市民の皆さまにとって市政を身近に感じてもらいたくとともに、改革の成果をメリッととして実感していただけるものになるよう鋭意取り組んでまいります。

ジュール等を示した「阿南市立小・中学校再編実施計画案」を公表し、その後、伊島地区を含む市内15地区において住民説明会を行ってまいりました。住民説明会では、具体的な学校再編案やスケジュールの説明のほかに、本市がめざそうとする子ども像や学校像を示した「新しい学校づくり」をよりイメージしやすく映像で紹介できるように作成した「広報あなん動画版」も見ていただきました。この住民説明会の様子や新しい学校づくりの動画はホームページからご覧いただけます。

今年度の予定としましては、実施計画素案に関して、さらに市民の方々から広く意見を聴き、より良いものとすることを目的として、本日6月3日から7月2日までの1カ月間、パブリックコメントを実施します。このパブリックコメントで出された意見を参考にしながら「阿南市立小・中学校再編実施計画」を今年度中に策定し、子どもたちの学習環境のさらなる充実などを目的とした学校再編を進めてまいります。

全文は、市ホームページで公開しています。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。